

2017 夏号 No.71

穂 濤

For WASEDA University Old Boys & Girls



江ノ島に向かって地引網のスタート

地引き網と砂浜で遊ぶ会

恒例の地引き網が6月10日(日)に、鵠沼海岸「堀川網」で開催された。梅雨に入り天候がすっきりしない日が続く季節にもかかわらず、当日は絶好の天気恵まれ、残雪が残る富士山が湘南海岸に顔を出した。稲門会の仲間のほか、藤沢三田会、白門会からも来賓を迎え、およそ100名が会場に集結。藤沢らしい海岸での催しで親睦を深めた。また、今年も県内出身の学生を中心とした早稲田祭運営スタッフ5名が駆けつけ、開催に協力してくれた。子どもたちもキッズパン食い競争、綱引き、ライフセーブ競技など

好天の湘南海岸で開催!

恒例の地引き網が6月10日(日)に、鵠沼海岸「堀川網」で開催された。梅雨に入り天候がすっきりしない日が続く季節にもかかわらず、当日は絶好の天気恵まれ、残雪が残る富士山が湘南海岸に顔を出した。稲門会の仲間のほか、藤沢三田会、白門会からも来賓を迎え、およそ100名が会場に集結。藤沢らしい海岸での催しで親睦を深めた。また、今年も県内出身の学生を中心とした早稲田祭運営スタッフ5名が駆けつけ、開催に協力してくれた。子どもたちもキッズパン食い競争、綱引き、ライフセーブ競技など

今年、設立25周年を迎えた藤沢稲門会において、地引き網は伝統的な催事である。1995(平成7)年に最初の開催が企画されたが、荒天のため中止。翌年に「リベンジ」となる第1回が開催された。以降、台風や荒天などによる中止もあったが、20年以上継続的に開催されてきた。2014年からは「地引き網と砂浜で遊ぶ会」として、地引き網だけではなく、景観に恵まれた藤沢の浜辺を楽しんでもらう性格も強めている。海外を含め世界に1300以上ある稲門会のなかでも、地引き網を開催できる環境に恵まれた会はごくわずかしかない。藤沢らしさを満喫できる、そして各地の稲門会から羨望のまなざしが向けられているこのイベントを通じて、全国に、そして世界に、早稲田の輪を広げていきたい。

* * * * *

なお、藤沢稲門会(2010年度までは「藤沢校友会」)が設立以来発行してきた『穂濤』のアーカイブズがいよいよスタートします。これまでの藤沢稲門会の歩み



応援の早稲田祭運営スタッフの皆さん

を振り返ることのできる貴重な史料であり、過去の地引き網はもちろん、懐かしい思い出がたくさん詰まったコンテンツでもあります。詳細は4面でご案内しておりますので、どうぞご覧ください。(葛西暢人 記/写真 舩岡 健)

校友の祭典

「2017稲門祭」

記念品の購入にご協力いただいた稲門祭は10月15日(日)に開催。

25周年寄付金のお願い

藤沢稲門会では、総会でお願いたしました創立25周年の寄付金募集について、次の通り要項を定めました。特に、終身会員の方にはご協力いただければ幸いです。

【募集要項】

●目的
25周年記念の各種行事や名簿作

現役学生の祭典

「早稲田祭2017」

11月4日(土)、5日(日)の2日間にわたって開催。

早稲田祭運営スタッフには、地引き網をはじめ藤沢稲門会の行事にもご協力いただいています。

<http://www.wasedasai.net/>

などの財政的裏付けを図ること。

●募集期間

平成29年度中

●金 額 一口 5千円

●専用振込口座

神奈川信用金庫 片瀬支店

普通預金No.2023526

早稲田大藤沢稲門会(寄付金)

●穂濤紙上で途中経過や年度結果を発表します(件数と合計金額のみ)。



楽しい模擬店もあります!

キャンパスでは早稲田にちなんだグッズをはじめ、校友によるさまざまな模擬店・催し物が待っています。詳細は『早稲田学報』誌面や稲門祭のWebサイト、フェイスブックページをご覧ください。
<http://www.wasedalumini.jp/tomonsai>

穂 濤

作品を通して交流の輪が広がる

第17回美術展

今年の会期は5月連休（5/2・5/7）、作品の出展者は54名、ご来場のお客様は1168名と何れも昨年を上回りました。例年のことと思いますが、展示会場は作品を出された方々同士、そしてご来場されたお客様との再会のもと、作品を通してそれぞれの交流が和やかに広がる良い機会となったようで嬉しく思いました。

期間中に受付当番を交代で行うシステムも良く、私はお蔭様で諸先輩とも面識を得て、親しくお話をさせて頂くこともでき感謝しております。出展者懇親会も和やかに催され、皆様の作品への思い入れを改めて伺うことができ、楽しい交流の場となりました。

出展のジャンルは非常に多岐に亘っていて、今年初めてという言葉遊びの会の「かるた藤沢百穂」は異色で興味深く感じました。会員のご家族を含め出展された皆様の作品はどれも個性的で魅力的でした。或る種の頑固さ、自分の求めるもの、表現への「こだわり」を持ち、納得のいくまで自分らしさをとことん追求しながら創りあげることを楽しんでおられる。どの作品もそれぞれに個性的で意思に満ち溢れているもので、皆様の人物像、熱意が伝わってきました。

今年の春は遅く、不安定なお天気の「さあ、歩きましょう」と集合場所の江戸島駅改札口は賑やかでした。参加者は52名です。

10時、海岸のテラスにて本日の日程の説明と集合写真撮り、冷たさを含む海風をものともせず、2キロの海岸歩道をサーフビレジへ。

トイレ休憩後サイクリングロードを2キロ進みます。バッグバックの長い列はいかにものんびりで、引地川沿いの道に入るとまだ固い蕾のなかにふたつみつの開いた花が視界に現れて思わず嬉しく

た。矢張り早稲田人らしいな、という印象でした。

出展された皆様のご精進とご苦労の甲斐あって今年の美術展も大成功だったと思います。裏方の企画・実行・運営の諸準備も緻密で用意周到、作品を出される皆様への気遣い、配慮に溢れるもので美術展の成功を支えたものと思います。ご担当された事務局の皆様には改めて敬意を表し感謝します。

新米の幹事として今後の参考にさせて頂きます。有り難うございました。

藤浦恒仁（昭和49法字）

遊歩会に参加して

第2回遊歩会

今年の春は遅く、不安定なお天気の「さあ、歩きましょう」と集合場所の江戸島駅改札口は賑やかでした。参加者は52名です。

10時、海岸のテラスにて本日の日程の説明と集合写真撮り、冷たさを含む海風をものともせず、2キロの海岸歩道をサーフビレジへ。

トイレ休憩後サイクリングロードを2キロ進みます。バッグバックの長い列はいかにものんびりで、引地川沿いの道に入るとまだ固い蕾のなかにふたつみつの開いた花が視界に現れて思わず嬉しく



出展者の皆さん勢揃い

鎌倉・六国見山を登る！

ハイキング

4月29日の「みどりの日」、雨天中止の前回は異なり、天気は快晴、鶯が囀る新緑のもと、ハイキングとしては最高な環境でした。普段運動不足のわが身にとって

はきつかったが、とても楽しいひと時を過ごせました。

富士を遠望出来る天候だったら、相模・武蔵・上総・下総・安房・伊豆の国々が見渡せるはずの六国見山を登り、少々汗をかいたところで明月院まで下りてそこで拝観。

その後、浄智寺の横をすり抜け源氏山公園まで一気に駆け上がりそこで昼食。ちよつとした骨休めをして、午後からの大仏の切通し

等深く感謝しています。有難うございました。

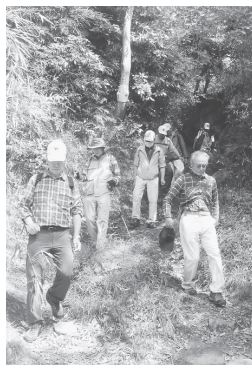
増田孝子



全員揃って記念撮影！



登りより下山の方が大変だ！



チャレンジに備えました。案の定、切通しは厳しく、かなりのアップダウンで、火ノ下のバス亭に着いた時は足もガクガクしていました。鬱蒼とした切通しの幻想さを体感できたことはとてもよい経験でした。

その後、バスで藤沢駅まで出て打上げの宴会を行い、親睦を深めました。初めてハイキングに参加し、最後まで歩けるか心配でしたが、何とか皆様ののおかげで完遂でき感謝です。

田中雄一（昭和50政経・経済）



四季の会

美しいバラに会えました。

前回の「浮世絵とふく食会」から一転、今回は「バラ鑑賞&旬菜賞味」の企画にて、5月21日（日）に四季の会・春バージョンが開催されました。

バラ鑑賞は日大生物資源科学部バラ園において午後3時から約1時間行われ、参加者は16名、新会員の広田さん、山本さんが初参加し、バラ園一杯に咲き誇っている多種多様な花々をじっくり見て回りました。

このバラ園には200種以上の種類のバラがあるとかでピンク・

田中雄一（昭和50政経）

バラ鑑賞&旬菜賞味

深紅・黄色と色とりどりに花を咲かせており、とても見ごたえがありました。

その後、旬菜賞味の親睦会が藤沢駅南口の居酒屋にて催されましたが、バラ鑑賞には参加できなかった佐藤女性委員長が合流し、大変賑やかな宴会となりました。

また、初参加の山本さんも会員の皆様とともに親密に楽しそうに語っておられましたよ。新会員の皆様は今回のこの会にはお顔をだされてはいかがでしょう。

藤稲テニス会

恒例の合宿が、5月13・

14日「いこいの村あしがら」で行われました。

1日目は生憎の雨でしたが、ゆつくり温泉に浸かり、夜の懇親会を楽しみました。2日目はからりと晴れ上がり、新緑に囲まれたコートで、老若（若は居たかな？）男女、先輩・後輩、など様々なペアでのダブルス戦。コートサイドからは賞賛、叱咤、ご指導などの声も飛ぶ中、熱戦が続きました。

厳しさと和やかさの相俟ったコート内の雰囲気は我がクラブの特色です。戦いを終えて、温泉でさっぱりと汗を洗い流し、新緑に見送られてあしがらを後にしました。



熱戦の後は和やかに！

テニス合宿に参加して

第24回藤稲史跡巡りの会

今回は、5月10日に37名が参加して開催。

東慶寺は、江戸時代、女の駆け込み寺として井上ひさしの『東慶寺花だより』に面白く描かれていますが、現在は境内に四季それぞれに美しく咲く花で有名です。特に春先、梅・山しゅう・三叉は見事です。

今回は、東慶寺の檀家総代の公平伸夫氏のご案内で書院にて第六代井上大光住職から当寺の歴史を詳しくお聞きし、本堂ではご本尊等を、水月堂では秘仏水月観音を拝観致しました。その後、著名人が多数眠る墓地や宝蔵を見学しました。

昼食は、門前の「タケル」を借

「東慶寺・松ヶ岡文庫」に参加して

り切って美味なイタリアン料理を堪能しました。

午後は、念願だった東慶寺の山の上にある鈴木大拙の松ヶ岡文庫に入れていただきました。私は、事前に『日本の霊性について』および『大拙没後40年寄稿集』を予習致したので、文庫での伴勝代女史のご丁寧な講話を楽しく聞くことが出来ました。

お陰様で大変充実した一日になりました。文庫で求めた大拙著『禪

藤稲言葉遊びの会

美術展に出展した幅2mのパネルに貼った百趣の『かるた』。この誕生秘話をご説明いたします。

2年前の10月、藤稲言葉遊びの会発足時、藤沢を詠った『かるた』を作ることで見解が一致しました。

実際の作業は昨年2月スタート。まずは藤沢の風物を社寺、自然、行事、産物などのジャンルに分け、例えば社寺なら遊行寺・龍口寺・江島神社・白旗神社等の個別題材を全体で百以上選定。月1回の例会で各自が作った七七五の句を持ち寄り、原案を吟味。会長の宮原昭夫先生の気さくさから、肩のこらない議論が百出し、それ

かるた『藤沢百趣』誕生秘話

それぞれの良さを生かして一つの作品に仕上げるのが大変楽しい作業。これを1年間続けました。

『斬られて哀れ 元使の塚に 枝垂れ梅咲く 常立寺』

横綱が参拝する寺の、赤白混じった梅の花を思い浮かべて頂けると幸いです。

『今は昔の その昔には 八松ヶ原が いま辻堂』

『大庭城下は 昔は沼地 名残とどめる 舟地蔵』

この作業の過程で辻堂の旧名や舟地蔵の悲しい由来も勉強しました。

『恋人の丘 龍恋の鐘 江の島山頂 若い夢』

眞子様のお相手の『海の王子』



新緑に彩られた東慶寺門前にて

堂生活』の中の第二代住職佐藤神忠師の挿絵が素晴らしく、帰宅後買って良かったと思いました。

永澤征治（昭和38商学）

穂 濤

で一段と有名になった鐘を、一足先に読み込みました。

今年に入り、5月の美術展出版を意欲して急ピッチで百首を仕上げ、ネーミングを『藤沢百穂』としました。

三瀬代表が大きなパネルを作り、読み札と取り札のサンプルを添えて貼りほぼ完成。解説入り小冊子も手作りしました。

最後は視覚に訴えるため、フォトクラブ等の協力を得た写真で彩りを。

『ここ打戻 稲穂が揺れて』

小出川には 彼岸花
赤い鮮やかな写真が印象に残ったと思います。

今後この百穂を藤沢の良さを伝える『かるた』として、多くの人

に知って頂き遊んで貰うため、関係各所に働きかけています。生みの親としては『もう一頑張り』です。

(野村幸男 記/村岡 猛写真)

◆広報委員会より◆

今後の穂濤にて継続して藤沢百穂を紹介してまいります。



全員揃って記念撮影！

スポーツ応援倶楽部

春の早慶2回戦を応援

5月28日、快晴の神宮球場に10時半頃に入場した。既に試合が行われていた。早慶の新人戦とのことでした。7回で終了。

幸先良く2対1で早稲田の勝ちだ。しかし声援は慶応が早稲田を圧倒、慶応席は既に満席状態だ。それもそのはず慶応は本日勝てば優勝、負ければ、立教に優勝が転がりこむという大一番。

本番は、午後1時試合開始。我々も気合を入れて声援を送る。先

行の慶応を佐藤晋のツーランで逆転。だが6回表に再逆転されるシーソーゲームだ。しかし慶応の3番手高橋亮を打ち込み7回に5点を奪取、結果は12対6で早稲田勝利。3回に同点タイムリーを打った長谷川など意地を見せた打線に応援のし甲斐があった。

4時間近い熱戦の余韻を味わおうと藤沢へ直帰。駅前の蕎麦屋で祝杯を重ねた。5月の緑の風に受け継がれた、輝く伝統の早慶戦を楽しんだ一日だった。

田淵 聰(昭和44政経・政治)

穂 濤

ホームページ

掲載にあたって

4月20日付け穂濤70号にて皆様にご連絡致しましたように穂濤を発行時期に分け藤沢稲門会のホームページに掲載致します。

本71号以降は会員拡大ツール、また一般へのPRの為「個人情報取扱要領※1」に基づきパスワード無しで公開致します。又1号・70号のパスワード※2は左記となります。7月20日頃に一部掲載を始め、来年1月には全てを掲載する予定です。是非ご覧下さるようお願い致します。

※1 藤沢稲門会のホームページに穂濤の掲載と同時に「個人情報取扱要領(穂濤70号に掲載済)」も同時に掲載致します
※2 皆様には取扱注意情報であるパスワードについては適切に管理頂くようお願い申し上げます。

【穂濤倶楽部予定】

8月5日 講師・佐藤寿一

「懐かしのプロ野球」

9月2日 講師・石平快三

「来し方行く方」

10月7日 講師・普川哲男

「60の手習いは？」

11月4日 講師・長瀬輝行

「200回を迎えて」

*会場 鶴沼市民センター公民館

第3談話室

*毎月第1土曜日 午後2時より

▼申込先 長瀬輝行/常任相談役

行事予定

◆BBQと里山で遊ぶ会

日時・9月10日(日)

会場・弁慶果樹園

※詳細は同封のご案内参照

◆SUC交流会

日時・10月7日(土)

会場・藤沢市民会館

第一展示ホール

主管・早稲田大学藤沢稲門会

■女性の会「麦の会」

15周年記念コンサート

〈珠玉のピアノ曲〉

日時・10月21日(土)

午後1時30分開演

会場・鶴沼海岸

レスブリ・フランセ

■神奈川県支部大会

日時・11月4日(土)

会場・大磯プリンスホテル

主管・平塚稲門会

■忘年会

日時・12月10日(日)

会場・藤沢市民会館

第二展示ホール